

法哲学と法哲学の対話

安藤 馨 = 大屋雄裕

2017年4月発売／366頁／本体2500円＋税
四六判／並製



編集
担当者
から

基礎法学が、「基礎」法学たることの意義を確かめたい——その手触りまでも感じとれるほどに。そしてあるいは、「法学」におけるその立ち位置すらも超えて。これが本書の根底にある思いです。ときに実定法学における馴染み深い概念を巡り、またときには分野横断的な理論を巡って、ふたりの法哲学者は他分野の論客をも巻き込みながら、互いに（さらには他分野の論客めがけても）激しく斬り込みます。読者は、広く内的視点と外的視点とを交えひとつの問題系を明らかにしていくその過程の、まさにその渦中に身を投じて、「思考する」ということの凄まじさ、あるいは恐ろしさをまざまざと感じとることでしょう。

そして法哲学者ふたりの議論を追うほどに、読者は次の問いを自ずと見つけざるを得ないように思います。この世界が——あなたと私の目にはどう異なって映るかを。いえ、そもそも異なって見える筈など、ないのでしょうか。（小野）

Index



仮借なき、知性と知性のぶつかり合い。読む者すべてを標的として。

- 第1テーマ 権利と人権のあいだ [提題大屋／応答安藤]
コメント：「権利」と「人格」（江口 聡—倫理学から）
 - 第2テーマ 団体が、そして団体のみが [提題安藤／応答大屋]
コメント：団体一元論と民法・民法学における個人・団体
（水津太郎—民法学から）
 - 第3テーマ 平等の平等か、不平等の平等か [提題大屋／応答安藤]
コメント：平等論と政治的権利をめぐる（井上 彰—政治哲学から）
 - 第4テーマ 法と危険と責任と [提題安藤／応答大屋]
コメント：新派復興の試みは成功したか？（佐藤拓磨—刑法学から）
 - 第5テーマ 正義・同一性・差異 [提題大屋／応答安藤]
コメント：正義の論じ方と政治の論じ方（田村哲樹—政治学から）
 - 第6テーマ 最高ですか？ [提題安藤／応答大屋]
コメント：Dream Fighter（片桐直人—憲法学から）
- 少し離れたところからの眺め——〈異世界通信〉としての対話（米村幸太郎）